

社区就業の発展及び女性就業機会の増大

中国社会労働保障部労働科学研究所
鄭東亮

1990年代前半から、下崗¹者の急増とともに就業及び再就職人口が増加し、中国政府は第三次産業、特に区内サービス産業を開発することを再就職の主要対策とした。1998年から政府は、「第三次産業発展による就業促進策」及び「区サービス産業に従事する下崗者の税収優遇措置に関する通達」等一連の政策を発表した。2000年初労働保障部は区就業試点としての100都市を選定し、地方政府も区サービス産業を発展させることで失業者の再就職を促進する発表するなど、区における就業促進を本格的にし始めた。

実際に区サービス産業は、都市失業者の重要な再就職先であるだけでなく、都市の新規労働者や農村から上京した労働者の就職先でもある。100都市の統計指標をみると、新規就業の中区就業の割合は約1/3を占め、下崗者の1/3が区就業を通じて再就業を実現した。こういうふうに区サービス産業の発展は、女性労働者に多くの就業機会を提供した。

．中国の区就業の特徴

区就業は、区の資源開発に根拠するもので、区の資源や市場を充分活用し、職場を創造するのである。従い、その定義はかなり広い範囲を含める。広意では区内で発生するあらゆる就業現象を意味する。が、一つの区だけを意味するのでも、区内における就業だけを意味するのでもない。区に基づいて区外まで延長できる。また、職種の概念でもなく、区のサービス産業にのみ限定されるものでもない。すなわち、家庭手工業、区内小型加工業及び第一次産業などである。このゆえ、区内就業の意味を厳しく規定する事は大変難しく、今のところその必要性もないと思われる。区就業の主要内容は区サービスである。中には区居住者のためのサービス、区企業のためのサービス及び区管理、公益サービス等が含まれる。

区就業の特徴は次の5つに要約することができる。

1. 分布が広く、職種が多い

区就業はその分布が広く、職種も多様である。区就業の領域ははまだ厳格に区分されていないが、一部の地方では家庭の清潔衛生サービス、初級衛生保険サービス、乳児・幼児の保母及び低学年の学生の登下校サービス、避妊諮問、引越し、出張料理、理髪、住宅の管理補修、保

¹ 中国において「崗」というのは職位を意味するものである。従って「下崗」というのは 企業の経営上（従業員個人による場合は含まれていない）の問題で剰余労働力を一定の期間（普通は三年ぐらい）解雇する 賃金を支給しない ただ従業員としての社内福祉を保障する（基本生活費を支給する）上記の解雇期間中企業の経営が好転する場合は、職場に復帰することができるが、そうでなくて期間が満了した場合は会社から辞職させる制度を指すのである。

安清潔維持、緑地業務、スポーツ、雑貨店、企業臨時職、その他サービス等に区分される。このように職業の種類は大変多様である。

2. 就業形式が弾力的で多様である

社区就業の中でも家事ヘルパーサービスは特に労働時間が弾力的で、場所も定まっていない。これは、言い換えれば収入が不安定だということにもつながるが、多様な就業形式のため、同時に色々な仕事ができるメリットがある。特に女性労働者には家庭、仕事の両立が実現できた。

3. 就業の安定性が高い

社区就業は、主に衣食住に関わる仕事が多いため、大変安定的である。労働科学研究所が2001年(ペキン)ペキン、青島(チンタオ)等8つの都市の1,000余名の社区就業者を対象に実施したアンケート調査によると、一定の職場で7ヶ月以上勤務した人は全体の2/3にのぼっている

4. 社区サービス業の発展及び拡大には信用や信用環境が求められる

社くサービス、特に家事ヘルパーサービスは、その社区の家庭にサービスを提供する仕事であり、時には家庭を直接訪問することもある。そのためヘルパーと顧客の間には相互信頼が前提されなければならない。言い換えれば、これは労働条件ともいえるだろう。現在、社区サービスの発展を阻害する最も大きな要因は、まさに信用環境である。入居保母の場合、広州市は合計50万名程が必要とされているが実際の従事者は10万名に過ぎない。大都市の状況を見ると、労働者がこの職種に対する偏見や供給が需要を満足させられない問題が併存している。家庭のみならず、企業も同じような問題に悩んでいる。このような問題は色々な原因によるものだが、その中でも特にヘルパーが家族の生活空間に大変密接しているところで働くという事が一番大きな理由であろう。この点が、家事ヘルパーと他地域サービスまたは一般にいう第三次産業が区別される大きな特徴であろう。

5. 社区職場の一部は公益性的である

社区就業の一部は公益性を帯びているが、その特徴は次の通りである。

1. サービス領域はほぼ公益事業であり、社会の構成員がともに享受する公共のサービスを提供する。ほとんどの場合、報酬がないかあっても大変少ない。
2. ほとんどの場合、政府投資により経費を充当する。例えば、地域清掃、緑地事業、保安、自動車管理、交通補助員、公共施設の維持管理、地域医療保健サービス、託児所、養老院等である。このような職場は、就業が困難な人に適している。

まとめてみると、区内就業は就職範囲が広い、就職人数が多い、わりと就職しやすい、就業形式が弾力的といったメリットがあるため、女性就職者に向いている分野だといえよう。

・ 女性労働者により多くの機会を提供する

どれだけの女性が区内就業を実現したのか。これに対する正確な統計はないが、労働科学研究所が2001年北京(ペキン)、青島(チンタオ)等8つの都市で1,000余名の社区就業者を対象に行ったアンケート調査の結果によると就業者の70%が女性であることが分かる。この調査を通じて、

家事ヘルパーや手工業等も女性に向いている職種だということが明らかになった。

ボックス 1.

上海(シャンハイ)7259事業 重症障害者のための介護

シャンハイ市には、70才以上の老人(老人一人または二人)が重症障害の子供の世話を
する家計が合計7,259もある。このような家庭には、金銭的な補助より実生活における
手助けが必要である。そこで、シャンハイ市障害者連合会は、'7259事業'を推進して
いる。各区の障害者連合会と街道²オフィスのボランティアが力を合わせ、毎日それぞ
れの家庭を訪問し、1時間ずつ家事を手伝う。平均して、ボランティア一人が3家庭を回
る。自給は5円で、障害者連合会の就業保障基金でこれをまかなう。この事業が始まっ
て以来、多くのボランティア希望者が名をあげており、多くの候補者から適任者を選抜
する場合もある。志願者はほとんどが'40~50代'の失業者で、月収は約400元であっ
た。つまり、これは重症障害者をもつ家庭の家事サポートをするだけでなく、公益事
業の性格を帯びたものでもあり、一石二鳥の効果を出している。この事業は2000年から
進められ、すでに2,000余家庭がボランティアのサポートを経験しており、計700名のボ
ランティアは全て女性である。

資料：労働科学研究所調査、2002年

ボックス 2.

広州市正祥和ホームサービス会社 家事ヘルパー派遣(入居保母)

この会社は、1999年4月に設立され、2002年5月現在3,600余名の家事ヘルパーを派遣
している。社員の95%以上が他地域の労働者であり、1,000人ぐらいが下崗者で、全体の
30%ぐらい占めている。この会社は湖北(フーペイ)省の関連地域との協力を通し、主に
下崗者を採用している。

この会社は社員教育を重視し、実際の仕事を始める前の28日間を教育期間としてお
り、その教育内容は社員の心構えから家事ヘルパーとしての初歩的な技術等である。
広州市のある一般家庭を教育場として設定、シミュレーション空間や設備等を整え、技
術的な事から日常的な生活におけるサービスの規範等を教育している。教育課程を終了
した社員は、会社と勤労契約を交わし、賃金は業務期限や技術満足度により400元、500
元、600元、700元に区別され払われる。また、一部特殊業務は別途賃金表により計算さ
れる。この会社は、全社員に対し身体傷害保険に加入しており、全社員から月100元の
管理費を受け取っている。ヘルパーが顧客の家庭に入居する前に、会社は顧客とサービ
ス契約を結び、顧客から900元の保証金を受け取る。会社全員がユニフォームを着用
し、100家庭ごとに監督官を置き、定期的に双方サービスの進行を確認する。

資料：労働科学研究所調査、2002年

² 街道：区より小さな行政単位(訳注)

ボックス 3.

遼寧(リャオニン)省本溪市南芬鉄鋼面對溝地域の總井レース工場 手工業

本溪市南芬鉄鋼の鉸工業地域であるこの地域は、1,212戸計3,120名の人口を有する。この社区は山に囲まれていて交通が不便なため、ほとんど鉄鋼やこれに関連した工場に就業するのが一般的であった。しかし、鉄鋼資源が枯渇危機にさらされ、就業に対する負担が増え続け、今の下崗失業人口は1,000名に達している。就業問題を解決するためにこの社区では、レース工場を設立し、下崗女性を採用し、日系商事にハンカチ・ブラジャー等といった紡織製品の刺繍レースなどを提供している。外国人投資により設立され、作業場は廃校を利用し、ミシン等といった関連設備も全て外国人投資によりまかなわれた。この工場は、注文書や原料(半製品)等を受注した後に登録した女性に仕事を分配、決まった納期までに納品させる在宅勤務や、作業場に出勤し働くという二つの方式から勤務形体を選ぶ事ができ、弾力的な作業方式を取っている。現在514名が加工業務に参加しており、この地域における女性就業問題を効果的に解決している。

資料：労働科学研究所調査、2002年

・ 社区就業促進のために先決すべき課題

社区就業の発展は、女性労働者により多くの就業機会を提供している。つまり、社区サービス産業の発展と地域内における就業の拡大には、女性労働者の就業を増大させる重要な働きがあるのである。そのために先決されるべき課題がある。

1. 家事ヘルパーの職業環境を改善すべきである

家事ヘルパーは社区サービス産業の重点である。従事者が不足しているため、環境改善ができればより多くの労働者を吸収することができる。第一に、法律制度や勤労基準の制定等を通して、従事者・顧客・中継社の三者の権利や義務等を明確にし、家事ヘルパーという職業の発展のための法的根拠を整えるべきである。第二に、勤労保障管理監督を強化すべきである。勤労保障管理監督が役不足であるため、街道オフィスや地域住民委員会の就業サービスセンターの協力を通して職能を開発し、勤労保障監督及びこれに関連した紛争業務を処理すべきである。第三に、家事ヘルパー協会と従事者による労組を組織し、問題点等を即時に反映し処理するためのルートを準備すべきである。

2. 従業者に対する教育訓練を強化する

第一に、教育を通して全般的な資質を向上させ、不必要な紛争を事前に遮断し、社区サービス産業の質を高めるべきである。そのためには、義務的に訓練教育を遂行させるべきである。第二に、色々な顧客のニーズへの対応のために、色々な社員を排出すべきである。第三に、中国の社区サービス産業従事者のほとんどは農村地域の労働者である事を考慮し、実際的な教育を実施することで、都市生活適応訓練を教育内容に盛り込み、農村労働者ができるだけ早く都市生活に適応させるようにする。

3. 社区サービス産業に対する政府の支援を強化する

第一に、現在の中国における都市家庭の生活レベルと支払い能力を考慮すると、社区サービス産業はまだ利潤が低い職種である。このため、この産業を発展させるには、政府の支援が必要である。ただ下崗者が社区サービス産業に従事する際のみ優待政策を提供するのではなく、職種全般に対して優遇措置を実施すべきである。第二に、社区サービス産業が発展するに必要な信用環境を創造するには政府の力が必要である。政府は創業、社区サービス組織の支援などに参加することを通じて、社区サービスに対する社会全体の信用を高める